
多面的機能支払 メールマガジン
「農村ふるさと保全通信」 第18号（2017. 6. 12）

農林水産省農村振興局 多面的機能支払推進室

多面的機能支払のメールマガジン第18号をお届けします。

今回は、施設の補修・更新の自主施工を支援するための「応援隊」を設置した広域活動組織や都市住民と協力して施設の維持管理をしている活動組織等をご紹介します。

事務局からは、全国事例研究会の日程等の詳細と参加者募集の開始についてご案内します。

==== 第18号の目次 =====

1. 活動組織の活動紹介

☆水・土・里ネット東陽（福井県鯖江市）☆

☆河南西部農空間保全協議会（大阪府河南町）☆

2. 全国事例研究会の参加者募集開始！

3. 「平成29年度 水田魚道設置指導者全国研修会」開催のご案内

4. 平成28年度「食料・農業・農村白書」の公表について

（編集後記）

=====

■ 1. 活動組織の活動紹介 ■

☆水・土・里ネット東陽（福井県鯖江（さばえ）市）☆

私たちの組織は、鯖江市の東部に位置する田園地帯にあります。平成19年度に「水・土・里ネット中野」として発足、その後近隣集落も参画し、現在20集落、取組面積487haの広域活動組織となっています。区域内の農業用施設は、老朽化が進んでおり、早急な補修・更新が必要なため、本組織では長寿命化対策に力を入れて取り組んでいます。

長寿命化対策の活動にあたっては、建設業経験者を中心に構成する【自主施工応援隊】を平成23年度に設置し、設計・施工・現場管理など技術的な面での支援を行っています。施工主体である集落をサポートし、また、交付金の有効活用を図るため、これまで水路の更新など6件の施工の支援を行ってきており、地域の要望に応えた施工や工事費の節減など一定の成果が得られています。こ

れからも、集落の自主施工に関する技術向上のための指導を行うことで、より質の高い取組を継続的に行っていきけるよう、支援を続けていきたいと考えています。

また、現在は草刈り作業の労力補完を図る取組として、【草刈り応援隊】の設置も検討しているところです。

今後とも、鯖江市東部地域の中で「キラリ」と輝く存在となるような組織づくりを目指していきます。

【水・土・里ネット東陽 事務局 堀 克行・根木菜摘】

☆河南西部農空間保全協議会（大阪府河南（かなん）町）☆

本協議会は農地開発事業区域内で活動しており、協議会メンバーの農事組合法人が都市住民の体験農園を運営し、協議会では芋掘り等地元の幼稚園等の農業体験も支援して農地の遊休化を防いでいます。

また、本地区では農地所有者の高齢化に加え、畑地では水利組合のような組織がないため水路清掃や草刈り等の維持管理作業を行う者の確保が課題でした。そこで、本交付金をきっかけに構成員全員で維持管理作業を行うこととした結果、農地所有者や後継者の農空間保全への関心が高まりました。

さらに、清掃には体験農園に参加した都市住民も加わり、農地所有者の3倍の人数で維持管理が可能となり、清掃だけでなく水路点検も実施できています。作業を通して農家と都市住民の絆がさらに深まったと感じています。

◎活動の様子は大阪府HPでも紹介しています。

http://www.pref.osaka.lg.jp/minamikawachinm/m_index/k_tamentekishihara_i.html

【河南西部農空間保全協議会 書記 浅野 哲司】

■ 2. 全国事例研究会の参加者募集開始！ ■

第15号でもご案内しました多面的機能支払交付金事例研究会について、参加者の募集を開始しました。

活動組織の皆様や自治体、推進組織等のご担当者様の参加をお待ちしております。なお、開催内容に関する詳細や参加申込は、農林水産省のホームページをご覧ください。

<本年度の開催情報>

▽日時▽

一日目：平成29年10月11日（水）

・13時30分から18時15分まで 「事例発表」

二日目：平成 29 年 10 月 12 日（木）

- ・ 9 時 15 分から 11 時 35 分まで 「テーマ別意見交換」
- ・ 13 時 00 分から 16 時 30 分まで 「現地視察」

▽場所▽

- ・ 事例発表・テーマ別意見交換

国立オリンピック記念青少年総合センター（東京都渋谷区代々木神園町 3 番 1 号）

- ・ 現地視察

活動組織の活動地域（予定：Team 雑田堀（東京都府中市内））

▽テーマ（予定）▽

- 1.活動組織の体制強化
- 2.多面的機能の発揮を通じた地域の活性化
- 3.活動を通じた地域農業の振興

▽詳細・参加申込方法▽

以下の HP で詳細をご確認の上、「5.参加申込要領」からお申込ください。

http://www.maff.go.jp/j/nousin/kanri/tamen_siharai/jirei_kenkyu_kai/H29.html

▽申込締切▽

平成 29 年 7 月 28 日（金）12 時 00 分まで

（参加申込の締切後、事例発表・テーマ別意見交換・現地視察のそれぞれの参加者について当方で決定し、参加者の決定通知をいたします。なお、万一お申込が定員を上回りご参加頂けない場合も、その旨ご連絡します。）

【農林水産省 農地資源課 多面的機能支払推進室】

■ 3. 「平成 29 年度 水田魚道設置指導者全国研修会」開催のご案内 ■

水田の生きものを増やし、環境の意識醸成や環境保全型農業の推進につながる水田魚道の普及を促進するため、（一社）地域環境資源センターでは、水田魚道の設置、管理、モニタリングなどの指導者を育成する研修会を開催します。

例年、多面的機能支払交付金の活動組織からも多くの方々が参加している研修会ですので、ぜひご参加ください。

▽日程▽

平成 29 年 7 月 20 日（木）13 時 00 分～7 月 21 日（金）13 時 00 分

▽会場▽

座学：じゅうろくプラザ（岐阜市文化産業交流センター）

実習：岐阜県海津市南濃町志津地内

▽申込締切▽

平成 29 年 6 月 30 日（金）

▽詳細・申込▽

研修会の詳細・申込については、（一社）地域環境資源センターのホームページをご覧ください。

<http://www.acres.or.jp/Acres/kenshukai/index.htm>

▽問合せ先▽

〒105-0004 東京都港区新橋 5-34-4

（一社）地域環境資源センター（担当：藤田）

TEL：03-5425-2461

FAX：03-3432-0743

URL：<http://www.jarus.or.jp/>

【（一社）地域環境資源センター 農村環境部】

■ 4. 平成 28 年度「食料・農業・農村白書」の公表について ■

農林水産省では、毎年 5 月頃に、この 1 年間における食料・農業・農村の動向をまとめた食料・農業・農村白書を公表しています。

本年 5 月 23 日に公表した平成 28 年度の白書では、生産資材価格の引下げや農産物の流通・加工の構造改革といった農政の改革方向が盛り込まれた農業競争力強化プログラムを解説するとともに、昭和一桁世代のリタイアが進行する中で変動してきた農業の姿を農林業センサスを使い分析をしています。

このほか、オリンピック・パラリンピックに向けた食材の供給、農業分野における AI、IoT、ロボット技術の開発など、話題性の高い項目をトピックスとして取り上げたり、全国各地の取組事例を交えたりして、様々な動きを分かりやすく紹介しています。

農林水産省のホームページには、概要と本体を掲載していますので、是非この機会に白書をご覧ください。

◎平成 28 年度「食料・農業・農村白書」（農林水産省 HP）

http://www.maff.go.jp/j/wpaper/w_maff/h28/index.html

▽お問い合わせ先▽

農林水産省大臣官房広報評価課情報分析室

代表：03-3502-8111（内線 3260）

ダイヤルイン：03-3501-3883

FAX 番号：03-6744-1526

【農林水産省 大臣官房 広報評価課 情報分析室】

■ 編集後記 ■

先日、学生時代にアルバイトをしていた居酒屋に、久しぶりに飲みに行きました。昔話に花を咲かせながら、懐かしい料理を沢山食べて、英気を養うことができました。当時、アルバイトがない日のほとんどをお店で飲んでいたので、「お前は折角あげた給料を店に還元してしまっている！」とよく笑われていましたが、卒業して5年経っても度々飲みを訪れる私は、「今度は俺たちの払った税金（私のお給料のこと）を還元していて、昔と全然変わらないな！」とまた笑われてしまいました。これからもよく働き、よく消費し、日本の農業に貢献していきたいと改めて思いました。

◇平成29年度多面的機能支払交付金のあらましはこちらからご覧ください。

http://www.maff.go.jp/j/nousin/kanri/tamen_siharai.html

◇配信先メールアドレスの変更・配信解除等◇

メールアドレス等の変更やメールマガジンの配信解除等は、以下のサイトから手続きをお願いいたします。

<http://www.maff.go.jp/j/pr/e-mag/>

なお、手続きには、パスワードが必要です。お忘れの場合は、以下のサイトでパスワードを再発行して下さい。

<http://www.maff.go.jp/j/pr/e-mag/re.html>

◇バックナンバー◇

過去に配信したメールマガジンの閲覧はこちらから

http://www.maff.go.jp/j/nousin/kanri/tamen_siharai/nouson_furusato_hozen/index.html

◇ご意見・ご感想等◇

メールマガジンに関するご意見・ご感想や取り上げて欲しいテーマ、ご自身の所属する活動組織の紹介文（300字程度）等に関するメールをお待ちしております。

tamen_ml@maff.go.jp

【発行】

〒100-8950 東京都千代田区霞が関1-2-1

農林水産省農村振興局整備部農地資源課

多面的機能支払推進室（担当：鈴木）

TEL：03—3502—8111（内線5493）
